

## 口腔細胞診セミナー

A seminar of oral clinical cytology

### 【セミナー企画】

日本大学松戸歯学部病理学講座・教授  
日本病理学会口腔病理専門医研修指導医,  
日本臨床細胞学会細胞診専門歯科医・教育研修指導医  
Department of Pathology, Nihon University School of  
Dentistry at Matsudo, Professor,  
久山 佳代 KUYAMA Kayo



昨今の口腔癌及びその死亡率の増加傾向から、口腔擦過細胞診が普及し、2015年に口腔細胞診の新しいガイドラインが制定された。ところが白板症を代表とする表層に角化亢進が先行する上皮内腫瘍からの細胞判定は細胞採取量が少なく、難渋することもある。そこで採取した細胞全量を活かし、精度を向上させ、標本作製の標準化を実現させる手法である液状化細胞診が口腔領域で急速に普及してきている。今回は液状化細胞診について、豊富な経験をお持ちの佐々木 優先生のご講演を企画した。

### 【セミナー講師】

医療法人優和会おひさまにこにこ歯科医院・理事長  
Yuwakai Med. Corp. Dental Clinic, Chief Director  
佐々木 優 SASAKI Masaru



利益相反 (COI) : 無

### 【略歴】

1986年 4月 東北大学歯学部附属病院第二口腔外科  
1989年 4月 東北大学歯学部文部教官助手 (口腔病理学講座)  
2011年 12月 医療法人優和会理事長  
2016年 3月 獨協医科大学大学院医学研究科博士課程修了  
学位・資格 博士 (医学) 博士 (歯学) 東北大学医学部非常勤講師 (病理学)  
日本病理学会口腔病理専門医研修指導医  
日本臨床細胞学会細胞診専門歯科医・教育研修指導医

### 【主な論文】

一般歯科医での液状化検体細胞診 (LBC) の普及が口腔癌の早期発見に大きく貢献する : 佐々木優. みちのく歯学会雑誌 45 (1,2) 18 78 ~ 79, 2014.

Pivotal role of duct epithelia in salivary gland GVHD: Masaru Sasaki, Yasushi Sawanobori, Toshiya Tanaka, Hisashi Ueta, Yusuke Kitazawa, Sachiko Kikuta, Thomas B. Issekutz and Kenjiro Matsuno. Arch Histol Cytol, 76: 9-21, 2016.

液状化検体細胞診を用いた地方公務員歯科健診での口腔がん早期発見の試み : 横堀育子, 佐々木優. みちのく歯学会雑誌 47 (1,2) : 18 ~ 20, 2016.

一般歯科診療所と病院歯科口腔外科でおこなう液状化検体細胞診（LBC）による口腔がんスクリーニング：口腔の細胞診の正しい手技と活用法

Oral cancer screening using liquid-based cytology (LBC) in general dental clinic and general hospital

### 【要旨】

最近の口腔がんに関する患者意識の高まりから、口腔がんを疑い一般歯科診療所や病院歯科口腔外科を受診する患者数は増加傾向にある。擦過細胞診は視診・触診の次のステップの検査法としてかねてから注目されているが、現在のところ広く普及しているとは言い難い。その理由は口腔の細胞診についての正しい手技と活用法が歯科医師の間で共有されていないことにより、口腔の細胞診の信頼性が担保されていないことが大きいと思われる。細胞診の技法は、液状化検体処理やセルブロック、免疫組織学、分子生物学的遺伝子検索など多くの進展を経て、近年の病理診断では「右手が組織診、左手が細胞診。」と言われるほどに重要性を増している。歴史的に細胞診は子宮頸がんの早期発見で大きな効果を上げてきたが、口腔の細胞診はほぼ同じ時期にスタートしたにもかかわらず、大きく遅れをとっており、パラダイムの転換が必要であると考えられる。

今回は、一般歯科診療所や病院歯科口腔外科で導入されている口腔の液状化検体細胞診（LBC）の実例をご紹介します。口腔の擦過細胞診の細胞採取の手技の実際について動画を交えて解説します。また日本臨床細胞学会ガイドライン（2015）と従来のクラス分類での細胞診の診断の実際とその際のピットフォール、そして診断結果の解釈の留意点などについて考察します。会員の皆様が日常臨床において、視診・触診の次のステップとしての口腔の細胞診をどのように活用すればよいかをお話しできればと思います。

### 【内容】

1. 症例提示：宮城県内の一般歯科診療所と病院歯科口腔外科の症例から
2. 細胞診の利点と欠点 - 特に口腔扁平上皮癌と前癌病変、他の腫瘍性病変について
3. 液状化検体細胞診（LBC）の利点と欠点
4. 口腔の細胞採取の手技の実際（動画）
5. 細胞診断の実際 - 細胞検査士と細胞診断医はこうして判断・診断している
6. 検査結果の解釈の留意点 - 細胞診断のピットフォール
7. 質疑応答（Q & A）